

犬山高校との意見交換会 フィードバック	
【概要】	
○日時	令和7年3月7日（金）午後2時～午後3時30分
○会場	犬山高校
○対象	1・2年生 17名
【発言項目】	
○件名1	「犬山市の図書館の活用について」
○内容	犬山市立図書館は若い人の利用が少ないと感じる。近隣の小牧市などはカフェが併設されていることで若者や学生の利用者が多い。飲み物を買うついでに本を借りる機会が増えるためである。カフェを併設することで、飲み物による本への損傷のリスクが考えられるが、飲食スペースと読書スペースを交互に設け、空間を分離することで、カフェも利用しながら、本への損傷も防げる。また、現在の図書館は室内が暗いので、照明を明るくすべき。利用者が来てよかったと思えるような、温かい読書空間にしてほしい。
【議員からのフィードバック】	
新鮮なプレゼンを大変興味深くお伺いしました。図書館の付加価値として、カフェの併設が近隣市町でも始まっている中で、図書館をより身近に感じていただく手法を幅広く考えなければいけないと感じました。スマホの台頭で、読書時間が少なくなっている分析も共感できましたし、席の配置など、カフェ併設でも本を汚さない対策も非常に考えられていました。高校生の学校と自宅の往復の中での犬山駅近隣での居場所づくりを図書館のあり方とともに、研究してまいりたいと思います。	
○件名2	「犬山市内に学習できるカフェ・施設を作ってほしい」
○内容	市内に友達と気軽に勉強ができるカフェを作ってほしい。市立図書館は閉館時間が早いので、利用時間が限られる。カフェで勉強するメリットは、勉強中に飲食が可能であること、会話ができること、長時間利用ができることなどがある。また市内の高校生を対象に、値段を半額にするなど工夫すれば、学生の利用が増え、店側もメリットがある。騒がしくなりすぎる、長居する人が増え、利用者が回転しないなどのデメリットも想定されるが、あらかじめ2時間滞在で飲み物1杯購入などのルールを定め、周知しておくことで解決できる。既に西尾市に導入事例があり、店も市も活性化されると考えるため、導入を検討してほしい。
【議員からのフィードバック】	
「勉強できるカフェを作りたい」という発想は、高校生ならではの視点が活かされており、とても興味深かったです。図書館の閉館時間や、気軽に勉強できる場所の不足といった課題をしっかりと捉え、メリット・デメリットを整理し、対策まで考えられていた点が素晴らしかったです。実現にはさまざまな課題もあります	

が、「高校生が学習しやすい環境を求めている」という視点は、まちづくりを考える上でも重要な気づきとなりました。このような発想力を大切にしながら、これから自由なアイデアを発信していきましょう。これからの未来をみなさんと一緒に作っていかれたらと思います。

○件名 3 「犬山市内に最新プリクラ機を設置して活性化」

○内容 最近の女子高生は盛れるプリクラを撮るために、電車で名古屋まで出かけていく。もし犬山市内に最新のプリクラ機があれば、名古屋まで行く電車賃でプリクラが撮れ、経済的である。市内にもプリクラ機はあるが、最新ではないため利用者が少ない。一学年を対象にアンケートを行ったところ、やはり人気のあるプリクラ機は市内にないことが分かった。人気のプリクラ機を設置すれば、人を集めることができるし、設置場所を駅構内や、城下町のシャッター店などにすれば、人が集まり、犬山の賑わいづくりにも繋がると考える。

【議員からのフィードバック】

今回の提案は、若者の市内滞在時間を増やし、地域活性化につながる大変良いアイデアであると感じました。ただ、プリクラは維持費がかかるため、単独運営は難しく、カフェや商業施設と併設することで導入しやすくなると考えます。また、プリクラは進化が早いため、継続的な導入方法の工夫も必要になると感じました。犬山城との合成背景など、観光要素を活かしたオリジナルプリクラを導入すれば、観光客にも魅力的になります。今後も地域を盛り上げるアイデアと一緒に考えていくことができれば、嬉しく思います。

○件名 4 「犬山市地下道計画」

○内容 犬山駅西口地下道を登下校時に利用しているが、地下道内は暗く、怖いと感じる。また、駅から犬山高校までの歩道はとても狭く、車の車体とカバンが接触する程である。小さい子供も通るため、大変危険であるし、運転手からの苦情も度々ある。そこで、現在の地下道を犬山高校まで延長した地下道「B1DOG（B1＝地下、DOG＝犬山）」を整備することを提案する。地下道があれば、歩道を歩かずに済み、安全であるし、雨の日も通りやすい。さらにB1DOG内に商業施設を入れれば、市民や観光客にとっての利便性も高くなる。地下道に壁アートを描き、映えスポットとなれば、さらなる観光客を呼ぶことができる。

【議員からのフィードバック】

地下道計画と聞いて我々は現状の地下道を活用した計画を想定していましたが、生徒の皆様は、駅からの通学道（歩道）の狭さを痛切に感じており、危険さをもとに大胆な計画を発想されていました。地下道を、現在の場所から犬山高校入り口まで延伸してほしいとの要望でした。今まで考えたこともない壮大な計画で聞いているこちらにも、想像するに楽しい計画でした。現状の地下道には、私たちも課題を感じておりますので、今後も豊かな発想をベースに、様々なアイデアを頂ければと思います。

【議会からのフィードバック】

今回の意見交換会を通じて、高校生の皆さんが市内に気軽に学習できる環境や魅力的な娯楽施設がないため、市外に出かけているという現状を知ることができました。また、犬山高校までの通学路で危険な思いをされていることを改めて感じました。それらの課題に対し、アンケートなどを通じて現状を把握するとともに、若者らしい切り口からの改善策を考えられており、大変刺激を受けました。

今後も、若い世代の新しい、夢のある提案を聴く機会を設けるため、来年度もまた引き続き、こうした意見交換会を実施してまいりたいと考えますので、生徒の皆さまのご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。